



報道関係者各位

2025年3月吉日

～ネパールからの技能実習生6名新たに入社～

広島・仮設足場専門の成架技建株式会社、 建設業界の新たな原動力 技能実習生入社式開催

足場資材のレンタル・販売から足場施工まで、業界に幅広く特化したビジネスを展開する成田屋グループの広島足場施工部門、成架技建株式会社（本社：広島県広島市、代表取締役社長：成田 敦）は、2025年2月12日にネパールからの外国人技能実習生6名を迎え、入社式を執り行いました。



入社式 記念撮影



入社証書交付時の様子

成架技建は、2015年に広島で工事部門を立ち上げましたが、日本の建設業界全体が若年労働者の減少や少子高齢化に直面し、慢性的な人手不足に悩まされていました。このような状況の中、成架技建も国内での人材が思うように集まらず苦戦していましたが、東南アジアからの外国人雇用の機会を頂き、これまでベトナムやモンゴルからの人材を積極的に採用し、この度2025年2月よりネパールから6名の方を雇用します。

ネパールの技能実習生を受け入れるきっかけは、技能実習生の母国であるベトナムやモンゴルの賃金上昇、日本の円安の影響で帰国するものや他国での就労を選択するものが増加し、近年同社で3年以上働く技能実習生が減少したことにありました。そのような状況の中、ネパールの技能実習生の話を頂く機会がありました。

ネパールでは経済成長を後押しする産業が十分に育っておらず、安定した収入を得ることが難しいため、人口の約20%が海外で働いています。多くの国民が海外で働いている中で、近年は治安の良さから日本が出稼ぎ先の上位国に浮上している事を知りました。また、一度出稼ぎに出ると10年は母国に帰らないなどの話も伺い、3年以上働いてくれる期待が持てたためネパールからの技能実習生を受け入れるに至りました。

2024年6月に現地に採用活動を行い、仕事紹介や足場作業の危険性などを説明することで、適性が見極めたり、日本語の面接を行い日本語能力を評価しました。

この取り組みは、多様な背景を持つ人材が互いに協力し、会社全体の生産性と創造性を向上させることを目指しています。

【イベント概要】

開催日：2025年2月12日（火）

開催場所：成架技建株式会社（広島県広島市安佐南区伴中央5丁目39-10）

実施内容：社長挨拶（成田社長）／入社証書交付／役員祝辞（福山専務）／技能実習生代表挨拶

入社式当日の様子

■ 社長挨拶（成田社長）

はじめに、ネパール語で「こんにちは！日本へようこそ」と挨拶した後、「日本の建設業界、労働人口は技能実習生がいないと回らないぐらい人口が不足しています。みなさんの力をぜひ3年間、成田屋・成架技建の会社で活躍することを大いに期待しています。私たちがみなさんに関わりを持つことがお互いの国に対するイメージとなります。私たちも一生懸命日本の代表として関わりを持ちますので、みなさんもネパールの代表として私たちと3年間関わりをもってお互い一生懸命模範にあれるように頑張ってください。」と、歓迎の言葉を述べました。



■ 役員祝辞（福山専務）

「みなさんの入社を心より歓迎しています。無事にみなさんを迎えることをうれしく思います。みなさんがここにいるのは私が面接して合格したという採用経緯がありますが、ただの偶然ではなく自分自身の選択、そして未来への意思の表れだと思います。私たちはみなさんを成架技建のメンバーとして未来を切り開くチャレンジャーたちだと期待しています。みなさんが持つ才能や情熱は成架技建をより一層強くしてくれると信じています。日本での生活や労働環境など困難な状況になると思いますが、負けずにそれを乗り越える力を発揮してほしいです。我々がみなさんをサポートしていきます。」と期待感と熱い思いの祝辞を述べました。



■ 技能実習生代表者挨拶

「こんにちは、初めまして本日からお世話になります。私たちは福山専務がネパールに来てから日本語の勉強を頑張りました。成架技建のみなさん・モンゴル・ベトナムの先輩のみなさん、わからないことも多く迷惑をかけますが、一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いします。」と、日本語で意気込みを語りました。

通訳の方からも「頑張ってください」とエールをもらいました。



現地採用活動と技能実習生への期待

・現地に赴いての採用活動について

技能実習生の現地採用は、一見するとコスト削減や手続きの簡略化につながる魅力的な選択肢に見えますが、実際には言語・文化の違い・教育コスト・労働条件・待遇など様々な課題や難しさが存在します。

その様々な課題を少しでも払拭できるように、現地での採用活動は慎重に行っています。

ネパールの首都カトマンズにある日本に技能実習生を送り出すことを専門的にしている2つの機関を見学させて頂き、日本語を勉強する様子などを視察しました。その後、2つの機関から約20名の方々と面接を行いました。

まずは仕事紹介を行い、足場作業の危険性や具体的な足場作業のイメージをもってもらうことで辞退される方がいました。同社の仕事内容に興味をもってくれた方を面接しました。

面接はこちらからの質問などはすべて日本語で行うことで日本語のレベルを確認して、日本語で面接が難しいようであれば、通訳を通じて面接を行いました。

・技能実習生に対する思い・考え

技能実習生を単なる労働力ではなく、共に成長し合える仲間として迎えることです。異なる文化や価値観を持つ人々と働くことで、多様性が生まれ、新たな視点を得られます。

技能実習生を受け入れていることで、外国人材が日本での生活を通じてスキルを習得し、帰国後にその経験を活かせるよう、全面的なサポートを行っています。彼らの成功が、成架技建の成功にもつながると信じています。実習期間は3年で満了となりますが、それまでに過ごす期間の中で、最終的には3年以上同社で働いていきたいと思ってもらえるような環境整備や技術面での支援を行っています。

技能実習生とのコミュニケーションの取り方について

月1回の技能実習生との面談を行っています。面談を行う前にまず日本人のスタッフから技能実習生の日頃の様子をヒアリングし、通訳を介して現場作業で期待したいことなどを、個人面談と技能実習生の全体ミーティングで伝えています。

技能実習生同士のコミュニケーションは基本日本語で行っています。現場のチームも同じ国の技能実習生同士にしないことで、日本語でコミュニケーションを行う機会を作っています。日本語に慣れていない技能実習生の場合、難しい日本語を多用してもうまく伝わりません。なるべくわかりやすい言葉に言い換え、短く簡潔に話すことを心がけています。現場での注意事項などの重要な情報はそれぞれの母国語に翻訳して紙で配布するなど、きめ細やかな配慮を行っています。

職場内での交流を促進するため、不定期に懇親会を行いバーベキューなど開催しています。これにより、技能実習生と日本人スタッフが気軽に仕事の話をする場を作りお互いの信頼関係を築き、相互理解を深めています。

今後の展望・取り組み

同社では、日本人材の確保と同様に、外国人材が長期的に日本で働ける体制を整備しています。現在、多くの外国人材が3年から5年を目安に日本で働いていますが、同社では5年以上継続して働く外国人材も数名います。毎年3名から6名の新しい技能実習生を受け入れる体制を持つ一方で、一年未満と短期間での帰国者や、技術不足による施工サービスの低下が懸念されています。

今後の技能実習制度の改正により、外国人材がより転籍しやすくなる中、長期的に働きやすい環境を整えることが急務となっています。同社では技術指導の充実、労働環境や雇用条件の改善を図り、外国人材が安心して働ける環境を提供することに努めています。



現状、教育・指導に関して外国人労働者から不満の声はなく、生活に必要な物資や作業服などの支給も充実しています。さらに、定期的なコミュニケーションを通じて、外国人材が気持ちよく働ける環境を整えています。雇用条件については、最低賃金以上で、日本人と大差ない条件で雇用契約を交わし、相互理解することが肝要になります。将来的には、同社の工事従事者の7割を外国人材が占めることが予想されます。長期的な雇用環境を維持し、技術不足を解消することで、サービスの向上と顧客との信頼関係を強化していきます。

同社は、技能実習生と共に持続可能な建設業界の未来を築いてまいります。



【成架技建とは】

成架技建は「安全」で、且つ「利便性」に秀でた仮設足場をお客様に合わせて提供することにより、足場を利用される皆さま方と社員、家族、そして地域住民の皆さまの幸せや喜びに貢献いたします。その為、施工技術力の向上と、ニーズを引き出す傾聴力の向上を軸として、「行動力」と「創造力」を高める探求を実践し、継続します。

【会社概要】

商号：成架技建株式会社

設立：2013年8月

資本金：1,200万円

代表者：成田 敦

本社：広島県広島市安佐南区伴中央5丁目39-10

従業員数：21名（令和4年現在）

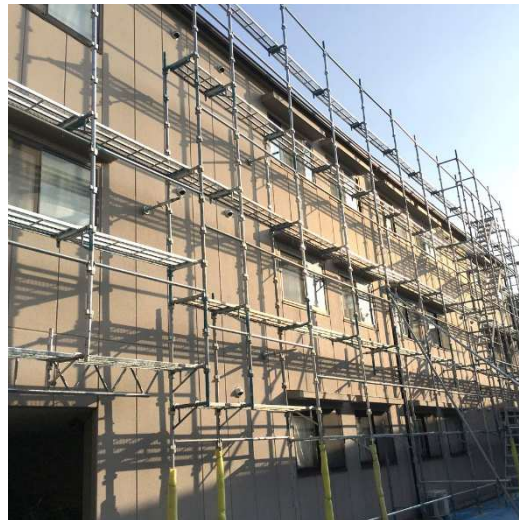
許認可等：【建設業】広島県知事許可（般-2）第39577号

持株比率：成田屋株式会社100%（<https://n-ya.jp/>）

主な事業内容：建設業工事用仮設足場の施工・レンタル

仮設ハウス・仮設トイレの販売レンタル

HP：<http://w2015.jp>



●成田屋グループの紹介

成田屋は、建物の基礎となる足場資材のレンタル・販売や足場工事・大規模修繕工事を手掛ける新興企業です。この3つの事業を基に進化・成長をし続け、基本理念の「信頼・信用・自由・責任」に基づいて、堅実に歩み続けています。

＜本件に関する報道関係者お問い合わせ先＞

お問い合わせ先：成田屋株式会社 広報担当：猪飼菜摘 TEL：03-5767-8666

E-mail：pr-naritaya@n-ya.jp（成田屋グループ広報部門）